

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493000135	事業の開始年月日	平成21年10月1日
		指定年月日	平成21年10月1日
法人名	株式会社ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター大和南		
所在地	(〒242-0016) 神奈川県大和市大和南2-8-19		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員 宿泊定員 定員計 ユニット数	名 名 18名 2ユニット
自己評価作成日	平成26年9月30日	評価結果 市町村受理日	平成27年9月29日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

職員不足が解消されない中でも、お客様には楽しいことを、思い出を作って頂きたい。いろいろな行事を計画し行っている。毎年同じ行事だけでなく変わった行事も開催し今後のニチイケアセンター大和南の固定の行事計画が出来上がれば良いと思っている。笑いの絶えない、笑い声がもれるホームになるように現在職員一同頑張っている。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興協会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成26年10月20日	評価機関 評価決定日	平成27年4月7日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>【事業所の概要】 この事業所は、小田急線及び相鉄線大和駅から平坦な道を歩いて10分の住宅地に立地している。道路を挟んで中学校と隣接している。駅からの道は分かりやすく、静かな環境である。スーパーマーケットが近くにあつて、買い物に便利である。 1階のリビングからウッドデッキを経て庭に出ることができる造りで、利用者は庭の菜園で、季節のゴーヤ、トマト、キュウリ等の野菜を栽培し、楽しんでいる。</p> <p>【医療連携体制の充実】 協力医による往診が月に2回あり、全員が受診している。他に、歯科医の往診が毎週あり、訪問看護師は、週に2回来訪して利用者の健康管理をしている。協力医も訪問看護師も24時間対応可能である。今後の終末期の対応についても準備を進めている。</p> <p>【ボランティアや中学校との交流】 地域の大正琴ボランティアの方が来訪してくれており、利用者は、合唱し楽しんでいる。また、地域の2つの中学校から毎年、福祉体験学習で数名の生徒が来て、利用者と一緒にレクリエーションをして、楽しい時間を過ごしている。向かいにある中学校の校庭から、生徒の声が聞こえ、様子を見ることが出来る。また、同校から運動会に招待されている。以前に行っていた保育園との交流も再開したいと考えている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ニチイケアセンター大和南
ユニット名	大地

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	前回の外部評価の際に職員が変わった事もあり、新しい事業所理念を作成したい旨を伝えたがまだ作成できておらず、継続して『尊厳と自立を守る』としている	法人の社是と事業所理念「高齢者の尊厳と自立」を玄関、事務室、各ユニットに掲示している。事業所理念の見直しは、時間をかけ職員と検討を継続していく意向である。各ユニットでは、毎月の目標を決め、支援に活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩の際に地域の方との会話や買い物などに行った際の交流はある。日常的な交流まではできていない	自治会に加入しているが、自治会のお祭り、消防訓練には、参加できていない。毎月16日は、事業者の内覧会で、地域の住民、他事業所の方やケアマネジャーが来る。ニチイ祭りの時には、介護機器の取り扱いや車イスの体験会を行っている。2校の中学生が、毎年、福祉体験学習に来る。大正琴のボランティアが来訪し、利用者は、演奏に合わせて合唱し楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ニチイ祭などで地域の方に対して認知症の講習会の実施等、ホームとして行える事を地域の方に対して発信していくようにしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で出た意見については今後のホームの運営に行かせるようにしている。例：会議のメンバー選出や自治会・地域への参加の仕方	運営推進会議が2か月に1回、最終の水曜日に開催するようになったが、地域の方や家族の参加がない。議題は、事業報告や、行事、防災関係となっている。	運営推進会議は定期的開催できるようになりました。今後は自治会役員の参加を働きかけ、地域との情報交換並びに協力関係の確立に努力することを期待します。また、家族にも参加を促し、要望や意見を聞いて運営に生かすことを期待します。

5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に市町村担当者の方見えられるため協力できる関係ではある。何か不明な点があるときにも電話にて聞ける関係ではある	市には、事業所の近況をメールで報告したり、要介護認定申請代行時に相談している。市のグループホーム連絡会に加入し情報交換をしたり、研修会に参加している。地域包括支援センターの研修に、今後参加することになっている。	
---	---	--	--	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関は夜間帯だけ施錠している。日中は玄関も、居室も施錠していない。年に1回、身体拘束についての講習をスタッフ向けに行う計画はある。又新人職員向けのオリエンテーションも入社の際にある	身体拘束排除については、マニュアルがあり、運営規定にも定めている。職員には、入職時、並びに年1回研修を行い徹底している。毎月、身体拘束ゼロの実施状況を法人支店に報告している。日中は、玄関も、居室入口も開放している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者は会社で行われる管理者研修に参加し身体拘束を含め高齢者虐待について学んでいる。そこで学んだ事を職員に周知するようにしている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在ホームに成年後見人制度を利用している方はいないが、今後利用する方も出る可能性ある為、学ぶ機会を持ちたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には時間をかけて理解して頂けるように読み交わしを行い納得してから、署名して頂いている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム設置の意見箱や運営推進会議、ケアプランモニタリングの際や来所の折等にご家族様から意見を聞く機会を持ち、ケアや運営に生かしている。外部への表示は行っていない	家族の来訪時や電話連絡の際、利用者の状況を伝え、意見・要望を聞いている。家族への新聞を発行することを計画している。家族の要望により、江ノ島水族館への外出を実施する予定である。法人により、毎年、顧客満足度調査を行い、意見・要望を把握している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月には行えていないが、出来る時にはホーム会議やフロア会議にて職員の意見を聞き支援している。会議が行えない時には、フロアごとの申し送りノートや管理者への報告ノートに意見を書いて頂くようにしている	管理者は、毎月の担当者会議や面談のほか、日常的に職員の意見・提案を聞いている。「なんでもノート」やメモも活用している。職員の意見により、職員の役割分担マニュアルを作成中であり、浴室乾燥機の修理も実施した。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	時給者に対してはキャリアアップ制度があり、試験に合格すれば時給が上がる		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社（支店）開催の身体介護技術研修が実施される等 全員参加できる（参加する）研修がある。外部の研修に関しては個々に対応をとっているが、こちらから職員に向けての案内も必要に応じ行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	上記研修では違うサービスの同業者とも交流できるものとなっている。現在人材不足から他拠点の支援を貰っていることもあり交流している部分もある		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前にご本人にもホーム入所後どの様に生活したいか聞き取りを行い安心して生活して頂けるように努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご本人様と同様、ご家族様にも入所前にどの様な困った事があったのか、今後どの様に生活して欲しいのか聞き取りを行い、いい関係をとる様に努力している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要とされている他サービスについては家族と相談しつつ取り入れている。現在はマッサージが多い		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員はご本人様が出来る事を全てとってしまうのではなく、一緒に日常生活を送れるように支援していくようにしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	基本、提携医以外の通院はご家族様に対応して頂いている。ホームに入所させるだけではなく、ご家族様との関係を壊さないように外出、外泊を進んで促している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	毎年、入所前に交流していた方との場所へ外出に行かれる方もいて、談笑される方もいる	入居前に通っていた福祉センターや、病院の医師に会いに行っている人もいる。お世話になっていたホームヘルパーや友達が訪問してくれる方、馴染みの床屋や墓参りに家族の支援で行っている方、正月に外泊する方など、関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	居室に閉じこもってしまう方もいるが、こまめに声かけし、孤立しないようにしている。スタッフが間に入り、談笑する話題を作り会話が弾むようにしている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現ホームではサービス終了後に関係が続くことはないが、以前勤務していたホームでは、サービス集口油江にもホームに遊びに来てくださるご家族様がいたので、そのような関係が構築できるように支援したい		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	声かけ・傾聴により本人の思い気持ちを 知る機会を作っている	日常生活の中で思いや意向を聞き取るようにしている。意向の把握が困難な方は、表情や身振りから読み取っている。相性がいい職員が会話したり、夜勤時にゆっくり話し合ったりして思いや意向を聞き取っている。家族や、後見人から状況を聞くこともある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に家族、本人から出来るだけ詳しく聞いている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活状況、心身の状態を把握し記録として残している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の希望に添うようにする為、職員間で話し合いを、持ちケアプランとしている	アセスメントをもとに、当初は有効期間1週間の暫定計画を作成し、その後は1ヶ月の計画を作成している。通常は3か月ごとに見直している。全職員が参加してサービス担当者会議、モニタリングを行っている。評価を経て計画の見直しを行っている。計画の作成には、医療情報や家族の意見も反映している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の記録を元に介護計画の見直しをしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同じケアが継続して行われていくことはない。レベルに合わせて柔軟に臨機応変なサービス、支援になるように取り組んでいると思う		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	特記事項なし		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームに入所してからの受診方法についてはご家族様と相談し決めていて今までの、かかりつけ医に通院される方も居る	全員が往診医（内科）の往診を受けている。往診医が月に2回、歯科医が毎週、訪問看護師が週2回来ている。往診医、訪問看護師は、24時間対応可能である。その他の科目は、家族が同行して受診している。医療状況は、管理日誌や支援経過に記録し情報を共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回来所の訪問看護師には、その都度、相談や要望を伝え、必要に応じて提携医へと連絡し		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際には、早期退院出来る様に必ず、担当の方に伝えている。その場合の為の関係作りは出来ていない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所の時点から終末期どうするか決まっている方もいる。殆どはそのような場面が近づいてきた際に家族と提携医、ホーム側で話し合いの場を持ち方針を決めている	入居時に重度化対応指針をもとに医療連携と看取りの説明を行い同意を得ている。看取りの実績はないが、家族の要望に応じて、医療関係者、家族と協力して対応していく意向である。当面は研修により、職員の意識とレベルの向上に努める。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	大半の職員は普通救命講習を受けている。新規職員には任意で講習を受けてもらっている。講習修了者の職員に対しては3年に1度の再講習の場を設けるように検討している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	天変地異の際の避難誘導、訓練については地域の方の協力も必要のため、自治会に頼み連携しての非難訓練が行えるように計画・検討している	2月に消火器訓練・避難訓練、3月に総合訓練を実施した。夜間想定訓練は、今後、検討する。地域住民の参加協力は、運営推進会議を通じて、継続してお願いしていく。非常用食料・水は3日分と日用品等を備蓄している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方に合う言葉や、話すスピード、目上の方に対してふさわしい言葉遣いとし、尊厳を傷つけない言葉となるようにしている	入社時に支店で言葉遣いや接遇の研修を受けている。リーダーやケアマネジャーの研修時にも受けている。排泄時にドア、カーテンを閉めることや、居室入居時のノック、声かけに注意している。個人情報を含む書類は、施錠できる書庫に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	全く言葉が発せない方に関しては、ご本人様の日頃の表情様で喜怒哀楽を読み取ってから、なるべく自己決定していただけるように支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の流れは、ほぼ決まっているが行事への参加も自由にしており散歩に行きたいと要望があれば行けるように支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人様に選んでもらっての行為を支援したり、スタッフが選んだものでも、ご本人様に確認して頂いてから更衣して頂いている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理が出来る、出来ないに関わらず一緒に言っていただける様に日々声かけしている。 その日の気分もあるので強制はせずその方に合わせて行っている	法人のレシピをもとに、野菜と魚は、指定店から、その他は、スーパーで調達し、職員は交代で調理している。利用者に合わせ、刻み食、ミキサー食等に対応している。利用者の意向により、出前を取ったり、外食に行つて食事を楽しめるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方の飲み込みの状態やドクターの指示により食事量や形態にしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご本人様に磨いてもらってからスタッフが確認し、磨き残しが無いかの確認をスタッフが行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中なるべくトイレで排泄して頂く、夜はポータブルトイレを使用したりその方にあった、支援をしている	半数程度の利用者は、自立している。排泄表で利用者ごとの排泄パターンを把握し誘導している。退院後の入居者が、おむつ使用からパンツに改善した例もある。トイレは、各ユニットに3か所あり、トイレ前の床に菱型の緑の模様を表示してわかりやすくしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	おなかに良いものの提供水分を多めに摂って頂く様に心がけている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	その日に誰が入るのか決まっており、入浴していただいている。介助が多いフロアのため。	入浴は、週2～3回を原則にしているが、希望があれば柔軟に対応している。1階には、シャワーチェアもある。入浴を好まない方には、タイミングを変えたり、馴染みの職員が対応したりしている。季節には、しょうぶ湯やゆず湯を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝たきりに近い方は、床ずれ防止の為、適宜臥床して頂いている。お昼寝したい方も自由に行っている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全員が服薬の目的を把握しているかといわれたら不明だが、処方されている薬の無いようについては、いつでも閲覧できるようになっており、変更になった場合には管理日誌にて確認している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりに合った役割りごとに提供をしている。例えば新聞折り、調理、モップがけ。ご本人様が好きな食べ物を聞き取り提供したりもする		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様が外出して下さる方もいる。職員も散歩の支援を行っている。又普段行けないところへの外出もホームで計画し（外出・遠足）している	午前と午後に分かれて散歩に行く。近くのスーパーや公園のほか、事業所の向かいの中学校を1周するコースもある。車いすの方も出かけている。外出を好まない方は、ウッドデッキで外気浴をしたり、季節により、菜園で野菜や草花の栽培を楽しんでいる。家族の協力を得て、花見に行ったり、遠足に行くことも計画している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人が欲しいものの購入の支援。一緒に買い物した際に欲しいものを聞き取りしての購入。本人に支払いを行ってもらうことがなかったので今後使用できるように支援したい		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様から電話をかけたいといってくることはなく、かかってきた電話に対して出ていることはある		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内は空調が完備されており、心地よく過ごせているとおもう。大きな音を出さないように注意している	居間・食堂は明るく広い。床暖房があり、和室もあるのでくつろげる。壁には萩の切り絵を掲示し季節感を出している。また、行事やイベントの写真、習字の作品を飾っている。職員と利用者が清掃しており、清潔である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを配置し自席以外にくつろげる場所を作っている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所の際はなるべく自宅で使用していたものを持参して貰い、内方に関しては、ご本人様が使いやすいものを相談し過ごしやすいように設置している	エアコン、クローゼット、スライドハンガー、照明器具、カーテンが備え付けてある。利用者は、ベッド、整理タンス、テレビ、家族写真など馴染みの物を持ち込み、くつろいで過ごせる場所としている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホームは全てバリアフリーになっており、手摺も多めに設置してある		

目 標 達 成 計 画

事業所名 ニチイケアセンター大和南

作成日 平成27年9月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の2ヶ月に1回の開催と構成員の増加、内容の拡充を行い、しっかりと記録を残す事	2ヶ月1回の開催と身になる会議が実施できるようになる事	自治会の方や近隣の方が参加しやすいようにもっと密に関係を普段からとるようにし、ホームの前にも掲示するなどし、案内の仕方を工夫する	平成27年度より実施予定
2	7	ホーム内の会議があまり行えていない	毎月1回は各フロア会議が出来るようにし職員間が統一したケアが出来るようになる	1ヶ月に1回の開催が出来るように開催日程を決める	平成27年度より実施予定
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。